

平成30年度 戸倉小学校 教職員 非違行為防止研修 その1

戸倉小学校では、平成30年度は

○子ども、保護者、家族を思い浮かべ、自らの言動を律する強い気持ちを持つ。

○教職員同士が心を開き、励ましと感謝にあふれた関係を築く。

を目標に、4月から非違行為防止研修を進めてきています。

4月

「誓い」の記入

5月

最近の事例（わいせつ・体罰）の新聞記事から

パワーハラスメントについて パワハラとは？

パワハラストレスチェックリスト

6月

盗撮が疑われる事例を読み、どこが問題なのか、対応に問題はないのか、今後どうしたらよいかを小グループで話し合った。

児童生徒に対する非違行為による懲戒はどのようになっているかを資料を読んで確認した。

7月

個人情報紛失等についての事例から、原因、当人の心情、反省、行為による影響を読み取り、どのようにしたら良かったかを考えた。また、戸倉小学校情報セキュリティー10箇条をチェックリストとして用い、自らの情報セキュリティーについて確認した。

佐久市で発生した、中学校教諭の酒気帯び運転の疑いで逮捕という非違行為について新聞記事等で内容を知り、校長先生から改めて注意があった。

8月

ストーカー行為についての事例を読み、本人はどうすればよかったのか、周りの職員としてどんなことができるか、少人数で話し合った。

＜ストーカーの事例についての先生方の感想＞

- ・保護者の方からの相談は、1対1にならないように気を付けたい。他の先生にも相談する。
- ・自分でも考えられる事例なので、心にとめておきたい。
- ・私的な携帯の利用をできるだけ避けることが必要だ。
- ・言葉づかいを敬語にする、2人だけにならないなどが予防につながると思う。
- ・どうして、このような思い込みをしてしまうか理解に苦しむが、自分とは関係ない、と考えてはいけない、と感じた。

非違行為防止研修について先生方からは、次のような思いが出されました。

- ・他人事にならないように、改めて振り返ることを忘れないようにしたい。
- ・自分もそういう部分があるかもしれない、という思いを持ち、自分を疑ってみることが大事。
- ・「自分が非違行為を行うはずがない。」という考えでなく、自分の問題としてとらえて考えたい。

今後も非違行為防止研修を継続していきます。

